大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2022年第17·18週(4月25日~5月8日)

今週のコメント

~感染症予防の基本~ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「咽頭結膜熱 増加」

第17週と第18週をあわせて報告する。大型連休のための医療機関の診療実日数の減少を考慮する必要がある。

第17週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は760例であり、前週比7.9%減であった。定点当たり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.76、0.35、0.23、0.21、0.17である。

第18週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は760例であり、前週と同数であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.76、0.38、0.20、0.19、0.16である。

感染性胃腸炎は前週より1例増加の544例で、南河内4.06、大阪市北部4.00、三島3.82、中河内3.30、北河内2.65であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2%減の40例で、大阪市南部0.44、大阪市西部0.40、三島・中河内・泉州0.35である。

咽頭結膜熱は9%増の37例で、泉州0.70、北河内0.27、南河内0.25であった。

流行性角結膜炎は300%増の8例で、豊能0.80、大阪市南部0.50、三島0.25である。

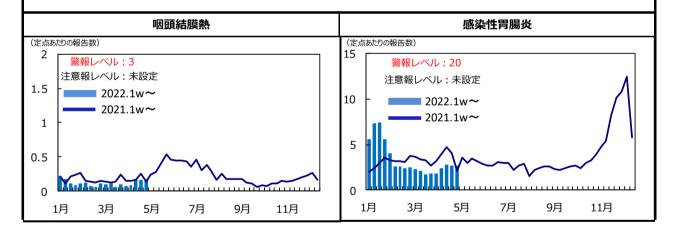


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2022年 第18週5月2日~5月8日)

第18週 の順位	第17週 の順位	感染症	2022年 第18週の 定点あたり 報告数	前週比增減	2021年 第18週の 定点あたり 報告数	2022年第18週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.76	0%増	2.08	1歳_20%
2	2	突発性発しん	0.38	9%増	0.21	1歳_59%
3	4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.20	2%減	0.34	7歳_20%
4	5	咽頭結膜熱	0.19	9%増	0.14	1歳_38%
5	7	流行性角結膜炎	0.16	300%増	0.04	20歳以上_62%

突発性発しんについて、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021/22年シーズンのインフルエンザ集計は第12週で終了しました。

第18週のコメント

〜梅毒〜 大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期より多く、全国でも2020年5,784例、2021年7,873例と増加している

全数把握感染症 梅毒 国内の梅毒の報告数は、2010年より増加傾向にあったが、 大阪府における2021年の報告数は、2年連続で1,000例を 下回った。 2022年5月10日集計分 梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の 1,200 2019 皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。ま **-** • 2020 1,000 た、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になる ---2021 ことがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待でき 800 積 る。 報 600 数 400 200 感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク) 梅毒とは(国立感染症研究所)

表 2. 大阪府全数報告数(2022年 第18週5月2日~5月8日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報 告 数	豊能	二島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1								1	29
	侵襲性肺炎球菌感染症	1						1			31
5 類感染症	梅毒	5	1		1					3	365
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1								1	7
	百日咳	1								1	10
新型インフルエンザ等感染症	ザ等感染症 新型コロナウイルス感染症		2020年1月以降累計 913,407								
結核	結核 新登録患者数:98名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 34名)										
(2022年3月分) (府内累積報告数 231名、内 肺・喀痰塗抹陽性 88名)											

(2022年5月10日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。 詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。